

「私たち、幸せに生きています」



ルポ 里帰りした「戦争花嫁」^①

三山 喬

(ジャーナリスト)

戦後の米軍統治が終わって58年。米軍人と結婚し、帰国する彼らとともに海を渡った「戦争花嫁」たちは、その後どんな人生を歩んできたのか。訪日団で里帰りした彼女たちを三山氏が取材した。

イメージとは異なる老婦人たち

メンバーの大半は、七十代後半から八十代にかけての老婦人たちである。訪日団として最後の夜を飾る都心のホテルでの「打ち上げ」は、立食形式にも関わらず、ほぼ全員が壁際の椅子に腰を下ろしての懇親会となった。彼女たちの集いではいつもそうなのか、スピーチが一段落すると、観光バスでの行楽さながら、マイクが次々と回されて、懐かしのメロディーのアカペラの熱唱が始まった。

昭和の流行歌が何曲か続いた後、ハワイの日系社会で歌い継がれる戦前移民の労働歌「ホレホレ節」を一女性が披露、続いて同じハワイからの参加者が、何かの替え歌なのだろう、「軍人花嫁の歌です」と、哀愁